



安倍政権が4年前安保法制(戦争法)を強行成立させた、9月19日・国会議員会館前に3,000人が集まり「戦争はいらない!」と怒りの声をあげた (写真提供 赤旗写真部)



No.544

治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟  
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4  
平和労働センター・全労連会館  
電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
E-mail chian@bz03.plala.or.jp  
頒価 50円

## 参議院選挙後の情勢の特徴をつかみ 2万人の同盟と年末課題の取り組みを

台風15号が9月9日未明、首都圏を直撃し、停電93万世帯、断水、食糧不足など、住民生活を直撃しました。ところが、安倍首相は、野党の臨時国会開会要求を逃げ回り、その上、台風どこ吹く風と第4次再改造内閣の組閣に明け暮れ、政府の緊急の役割をかまける始末です。

組閣後のNHK世論調査では「新内閣が最も力を入れて取り組む課題」について、①「社会保障」28%、②「景気対策」20%、③「憲法改正」5%などでした。(9月11日)

総理は「党の長年の悲願である憲法改正を、強くすすめていきたい」と臨時国会で改憲議論の加速を狙っています。

消費税増税中止を求める国民の声に「挑戦」し、「海外で戦争する国づくり」に突進する安倍政権を止めさせましょう。

道はただ一つ。参院選挙一人区で激戦を制して勝利した貴重な教訓を生かし、市民と野党の共同で総選挙で統一候補を擁立・勝利して野党連合政権を打ち立てることです。

野党各党に本気の共同を呼びかけましょう。

各ブロック交流会がはじまっています。第39回全国大会から3カ月がたちました。2万人の会員めざす各都道府県・支部の自主目標達成、国会請願署名、犠牲者の顕彰活動、闘う財政活動の確立など、大きな成果を上げていく先進県・支部の経験に学び、「さらに行動する同盟」をつくりましょう。

### 主な記事

- 各ブロック交流、県本部大会・総会開く……………2
- 私も一言/猿田佐世・新外交イニシアティブ代表……………3
- 顕彰碑/吉野作造・大正デモクラシーの旗手……………5
- 抵抗の群像/寺島泰治・社会変革の「道踏み人」……………6
- 同盟文芸/短歌・俳句・川柳……………7

## ブロック交流会が始まる

### 関東ブロック

9月8・9日にかけて、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟関東ブロック交流会が群馬県で開かれました。8日は第12回伊勢崎多喜二祭に参加。フィールドワークとして、多喜二奪還事件の現場、故菊池敏清宅の現地説明会に約30人が参加しました。高崎市の会場に移して、8日夜は懇親会、9日は交流会を約50人で行いました。会議では、吉村駿一群馬県本部会長が開会挨拶。小菅啓司日本共産党群馬県委員長が来賓挨拶。吉田万三中央本部副会長が「報告と提案」を行い、前進する国賠同盟のための4つの提案。午前中は各都県の報告を行い、午後は16人が討論で発言しました。最後に小松実中央本部副会長が日韓関係で混迷する安倍政権に、同盟活動の前進で痛打を浴びせようと訴えました。交流会で5人の会員が増えました。

### 近畿ブロック

近畿ブロック交流会が9月3・4日、滋賀県大津市で開かれ、85

人が参加しました。

成瀬龍夫元滋賀大学学長の記念講演「比叡山の僧兵」。増本一彦中央本部会長が「2020年代を治安維持法体制による侵略戦争と暗黒政治によって個人の尊厳が破壊された時代を総決算する新たな時代に。そのため2万人会員と国賠署名自主目標の実現を」と呼びかけました。会議では、「支部づくり、支部活動のレベルアップをはかる」(大阪)、会員拡大で成果をあげている兵庫は「『さらに行動する同盟』へ、関西で5000人の会員実現を」とよびかけ。京都は「谷善など治安維持法犠牲者の顕彰活動の強化」、奈良は長谷川テルの顕彰活動に継ぎ「全虎岩の顕彰活動に取り組む」、和歌山は「記憶遺産の語り部として治維法犠牲者を語り継ぐ」と述べ、滋賀は「支部活動あつての国賠署名の前進」と語りました。

### 中国ブロック

9月8・9日の中国ブロック交流会が岡山県の鏡野町奥津で開かれ53人が参加しました。倉敷民商事件の禰屋町子さんが5年目とな



るこの闘いへの支援を訴え、武田英夫元県議は国と長野県政の強圧に抗した奥津町民の「苦田ダム反対闘争」を語り、記念講演は、川谷宗夫「朝日訴訟の会」事務局長が「人間裁判―朝日茂の闘い」を講演

しました。

増本一彦中央本部会長は同盟の運動の意義を歴史的に説明。国民的運動に広げ、会員拡大、国賠署名の飛躍を呼びかけました。

活動報告と発言は2日間で22人。広島、岡山の参加者から会員拡大の教訓、島根県益田支部から新しい層への働きかけで署名を倍加した取り組みや文化、自然に親しみながら楽しく活動している経験など職場、地域での活動、学習と拡大の努力、犠牲者の顕彰活動など熱気と意欲に満ちた発言が相次ぎ、元気のである交流会でした。



「表現の不自由展・その後」が名古屋市長やテロ予告、脅迫で中止させられた。この動きを擁護する

菅官房長の発言で文化庁が補助金不交付を決めた▼地方自治体や国が展示内容で中止させ補助金も出さない。まさに憲法の「表現の自由」を侵す「検閲」そのものであり断じて許すことはできない。戦前のもの言えぬ社会に戻してはならない▼埼玉県の公民館だよりに、「9条守れ」を入れた俳句を秀作として掲載を予定。市は、「中立性を害する」と不掲載。投句者が異議を申立て、最高裁で不掲載は違法とし賠償を命じ、9条俳句は掲載された。いま国民が声をあげるとき▼安倍首相は、9条改憲だけでなく意に沿わないものを排除、表現の自由圧殺・マスコミへの圧力・教育への干渉など、憲法をないがしろにする政治は一日も早い退陣が求められている▼参議院選挙で切り開いた成果を発展させ、政権構想を示し、総選挙で勝利し、野党連合政権を実現しましょう。

(中)

# 「さらに前進する同盟」へ県本部大会・総会開かれる

## 宮城県

第29回県本部議会を7月29日宮城市で開催。日本共産党県委員会、日本国民救援会県本部、宮城レックド・パージ反対同盟から来賓あいさつ。今年度は、支部を基礎に300人の会員目標に近づく取り組みを進めよう。犠牲者の名簿作成に速やかに取り組もうとの方針を提

起。討議では女性部から「治安維持法と共謀罪」の学習会、各団体との交流の提起。石巻支部からは布施辰治没後65周年行事、仙南支部「請願署名」、仙台支部は会員を18人拡大、役員を増やし、体制を強化し、支部の顕彰活動。大崎支部では新しく栗原支部の建設を模索、会費100%納入をし

ていること等。新役員体制は、会長横田有史他。事務局次長小野ともみ氏を選出。

## 新潟県

第37回新潟県本部大会が8月18日開催され、44人が参加。中央本部の田中幹夫事務局長が、「さらに行動する同盟を作るために、どうしても会員を増やさなければならぬ」と激励。映画「伊藤千代子の生涯」を製作中の桂壮三郎総監

## 国賠同盟の歴史は古い。



国賠同盟の歴史は古い。私はワシントン留学を契機に、日米関係に風穴を開けるべく、辺野古問題で米連邦議員に対してロビイングを行い、新外交イニシアティブ(ND)というシンクタンクを設立した。辺野古基地反対、原発反対など従来の日米外交では届けられてこなかった声を米政界

## 米議会でのロビイングを通じ 日米外交に新たな風を

猿田佐世

中樞に伝える活動をしている。今の日米関係に疑問を

である。国賠同盟の活動は続く。「不屈」。治安維持法で投獄された沖繩の巨人瀬長亀次

## 秘も一言

郎が好んで揮毫した言葉だ。「歴史とは現在と過去の対話 (E・H・カー) であるが、共謀罪法が成立した今日、国賠同盟の活動はまさにこの対話の実践ではないか。」

(弁護士、新外交イニシアティブ(ND)代表)

督が講演され、「秘密保護法、共謀罪法、戦争法が作られ、戦前のような世の中になりつつある今、節を曲げなかった伊藤千代子の生き方を世の中に訴えたい」と熱く語りました。魚沼支部長・住安孝夫氏は、映画「母」の上映会を開催し、315人が入場、好評だった。会員も支部結成から2年ほどしか経過していないが、10人に成長と報告。会長・伊藤恭子氏、事務局長・野崎洪氏を選任しました。

## 長野県

7月31日、長野県本部第44回定期総会が開かれました。今回の総会では、新しい時代にふさわしく、「行動する」「強大な同盟建設」をめざすとした方針を満場一致決定しました。

(4ページにつづく)



(3ページからつづく)  
県同盟を目指すことを目標にしました。

「教育・学習」を重視する、実践の第一歩としてブレ企画、各地の「歴史記憶遺産」の報告を6人が発言し、大阪のケイ・シユガーさんのCDや三浦みおさんの「コカリナ演奏」も楽しみました。

県会長は遠山茂治、事務局長は竹村利幸両氏を選出しました。

### 奈良県

8月25日開かれた第33回治安維持法同盟奈良県本部総会で、詩人会議運営委員の熊井三郎さんが「戦時下の抵抗詩人 階戸義雄の生と詩を語る」と題して記念講演しました。

第1部では県本部総会が開かれ、田辺実県本部会長が理事会を代表して報告と提案を行いました。また同盟中央本部

副会長の松本洋一郎氏ら4人の来賓挨拶を受けました。

総会では、奈良市支部結成準備会を代表して発言した白川健太郎氏ら6人が討論に参加。また、「自公政権に代わる国民の願いを実現する政府の実現を！」と題する「特別決議」を採択。総会には県下各地から40人が参加しました。会長に田辺実氏、事務局長に加藤宣之氏を選出。

### 和歌山県

8月24日、第30回同盟和歌山県大会が、代議員31人中29人、評議員7人の参加で開かれました。来賓の日本共産党楠本県会議員の挨拶。メッセージが15団体から寄せられました。

鶴田県本部会長の訴えを受け8人が討論に立ちました。西牟婁支部の「2人区の県議選挙を勝利し、署名目標も100%やり切った。来年度も必ず目標を達成したい」、日高支部「県議選挙では共産党候補が当選、二階大國に風穴を開けた。この力は同盟の運動に大きな励ましになるだろう」、那賀支部の「今年も40人

加の同盟新年の会を成功させた。署名用紙をいつもカバンに入れ、仲間と歩きたい」などの発言。会長・事務局長は兼務で鶴田至弘氏が選任されました。

### 京都府

8月31日京都府本部第34回総会を開催。この1年間に亡くなられた17人の会員に黙祷。メッセージの紹介、倉林明子参議院議員と民青京都府委員長から挨拶を受けました。「谷善を語る会」の藤田洋さんが、「治安維持法と谷善」と題し講演。中京支部結成の教訓。宇治洛南支部の活動。署名運動を今後飛躍させる京丹後支部の決意。

なお、8月の「平和のための京都の戦争展」で同盟に加盟された2人の会員が飛び入りで総会に参加、治安維持法による宗教弾圧について発言しました。会長に原田完氏、事務局長に三原哲氏を再選。

### 熊本県

8月24日、熊本市の国際交流会館で総会を開催しました。

総会は、中央の国賠同盟創立50周年記念躍進年間に果敢に挑戦し、

会員拡大で長年の目標を超過達成、さらに飛躍を目指すために何が必要かを議論する場となりました。

今年は、県同盟結成40周年の節目の年であり、総会で決定した新たな目標は、200人の県同盟建設、国会請願個人署名5000筆です。そのためにの課題として、本部の事務局体制の強化、各地に支部成果を目指すことが確認されました。

また、県同盟結成40周年を記念して、大原元会長を中心に進めている犠牲者の最新の成果を改訂版として出版することを目指しています。

記念講演として、劇映画「伊藤千代子の生涯」の総監督桂壮三郎氏に『私がなぜ治安維持法犠牲者伊藤千代子の映画を撮るのか』その意義を語っていただきました。県本部として上映協力債券の購入、上映運動に取り組みことも確認しました。

役員人事は、会長小田憲郎氏、事務局に根根隆氏が再選されました。(7ページに続く)

# 第30回全国女性交流集会

締め切り迫る 10月25日(金)

日時 2019年11月10日(日) 午後1時開会

11月11日(月) 午前9時分科会

会場 ニューウェルシティ湯河原

記念講演 平山知子さん(あかしあ法律事務所 弁護士)

分科会は、

①「治安維持法とは何か」

②「ストップ―安倍改憲」

③「語り部活動」

④「いきいき女性部」

の4テーマです。

☆各県本部は「いきいき女性部活動」(DVD)用の写真3枚を大至急送ってください。

創立50周年記念会員拡大の漏れがありましたので報告します  
累計は153人になりました。

5人以上の顕彰者です。

新潟 5人

伊藤恭子・野崎 洪・佐藤勝太郎・住安孝夫・遠山武

【訂正】本紙9月号2ページ下の写真は、秋田県本部でなく滋賀県本部の写真でした。

## 2019年度会費納入を

会員の皆さんの日頃のご協力に感謝申し上げます。

19年度も早いもので半期が過ぎました。

まだ会費納入していない会

員の方は、できるだけ早く納入して下さるようお願いいたします。

会員のみなさんの財政活動にご協力をお願いします。

同7ページ、同盟文芸の俳句の天野美葉子さんのお名前を「三葉子」に訂正します。

### 県本部住所変更

鳥取県本部

T682・0701

鳥取県東伯郡湯梨浜町1689

竹中寿健様方

TEL・FAX

0858・35・3955

### 事務局日誌

9月3日 名簿編集委員打ち合わせ

9月3〜4日 近畿ブロック交流会

9月6日 きかんし(株) 創立70周年記念祝賀会

9月8〜9日 中国ブロック交流会

同 関東ブロック交流会

9月17日 水谷安子さん106歳誕生祝い

9月22〜23日 四国ブロック交流会

9月24日 全労連会館運営委員会

同 交際人権活動日本委員会代表者会議

9月25〜26日 北信越ブロック交流会

9月26日 日本母親大会実行委員会

9月29〜30日 北海道ブロック交流会

同 東北ブロック交流会

同

同

同

同

同

2019年秋季号

# 『治安維持法と現代』

10月末発行予定

### 治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

2019年秋季号『治安維持法と現代』【主な内容】(予告)「三・一朝鮮独立運動100周年・隠された朝鮮侵略の歴史」=中塚明、《特別寄稿》「自民党過半数割れと新たな展望」=金子勝、「深層解明・日米同盟の新段階」=小泉親司、「民主主義と自由の未来へ、共に歩もう」=広井鴨子、「治維法と近藤忠義さん」=塩谷郁夫、「ナチスに抵抗した軍人の名誉回復によせて」=児玉健次、「翻訳資料・ドイツ包括的名誉回復法」=伊坂晋司、「治維法下の津山楓風と画『犠牲者』」=小木宏、「『芸術と憲法考える連続講座』なぜ犠牲者を題材に取り上げたか」=川島晴均、「禁演落語と国策落語」=柏木新《文学エッセイ》加藤周一誕生100周年に寄せて」=北村隆志、「『生きてゐる兵隊』を讀む娘さん」古澤夕起子《抵抗の群像》「国内最高齢犠牲者・小林末夫さんに聞く」、《秋田県の俳句歴史事件『蠟燭』事件》、権太『戦旗』事件読者会開催事件ほか。

A5判 定価1000円

申し込みは、中央本部・各都道府県本部へ。

発行 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

# 同盟文芸

## 短歌

碓田のぼる選

躍進の響がる「共闘」の目覚ましき勝利浸る  
 知事選終える 岩手県 小杉 正夫  
 担任に往復ビンタ張られたる痛み頬にあり七  
 十余年後今も 岐阜県 田中 良  
 治安維持法で逮捕されたる父をもつ末娘のあ  
 なたに初めて逢えた 静岡県 江川 佐一  
 山手線夏の車内の傷痍軍人にそっとお金にぎらせし  
 在りし日の父 埼玉県 福家 駿吉  
 歯科医院待合室に媼あり「大家さんと僕」を  
 もう読んでいた 大分県 渡辺 幹生  
 向日葵の黄色にもえる花咲けば生きる勇氣と  
 希望がわきくる 福井県 元山章一郎  
 いつからか夢見ることも忘れ果て寂しがり屋  
 の老女となりぬ 奈良県 大森富士子  
 侵略の史実認めぬ政権に只只抗議繰り返すの  
 み 岐阜県 和田 昌三  
 甲子園アニメ主題歌スタンドで演奏するなり  
 京アニメール 島根県 小玉 信恵  
 みどり児は新たな未来へ伸びゆかん早苗のご  
 とく凛と生きつつ 鳥取県 大久保禮吉  
 (選のあとに) 江川作品、長い間気にかけていた、  
 その気配り。福家作品、在りし日の父の深い思いや  
 り。渡辺作品、「しまった」と思うあとに「同好の  
 士よ」と云った感じ。大森作品は自画像をうたう。  
 下句は少し甘いかもしれない。

## 俳句

望月 たけし選

資本論新版の報秋深む

神奈川県 天野三葉子

座り胼胝爺婆辺野古は西日中

埼玉県 小池 荘八

大逆の遺魂学習竹の春

岩手県 島山 文裕

秋高し税上げるなの声響く

三重県 橋本しげる

オスプレイ来るな普天間夏扇

兵庫県 岸本 守

〔評〕全面改訂した『資本論』。学び、活動に。ま  
ず、「ルールある経済社会」づくり。行動にさらな  
る確信を持ち、それを一句に。

## 川柳

鈴木いさお選

国防は防衛費より防災費

埼玉県 福家 駿吉

〔評〕防衛費予算の三分の一でも防災へ回してほし  
いもの。  
表現の不自由展を観る自由

鳥取県 大久保禮吉

汚染水海に流すといふ本音

東京都 阿部 俊雄

茶の間にて韓国政治通になり

東京都 中村 茂樹

宝くじ売上伸ばす報告書

京都府 河野 暉夫

(4ページからつづく)  
埼玉県

8月24日、埼玉県本部第54回総  
会が、会員目標300名を達成し  
て開かれた。

矢島恒夫会長は挨拶で、「県直  
会員の支部への所属」「役員の後  
継者問題への協力」などを求めた。  
日本国民救援会、日本共産党から  
来賓挨拶。9団体からメッセージ。

議案等提案を受け、7人が発言。  
「埼玉の国賠署名は労組など団体  
の協力による」、「近現代史を勉  
強する動きが生まれた支部学習会」  
の報告。「治安維持法の弾圧は遺  
族まで差別される歴史を作り上げ  
る、日本の政権の体質」の指摘。  
「治安維持法犠牲者の名簿化」  
「遺族の名誉回復の活動」の提案  
など。

矢島恒夫会長は、まとめて「歴  
史教育を考えていく必要性」と  
「犠牲者の発掘・顕彰の重要性」  
を訴え。最後に、大野辰男副会長  
は、「350人という目標に向かっ  
て頑張る」と閉会の挨拶をした。  
会長は矢島恒夫、事務局長は岩  
田治樹両氏が再任された。

## 抵抗の群像



## 社会変革の道踏み人 として人生を歩んだ 寺島泰治

若くして農民運動と  
労働運動を体験

寺島泰治さんは1907(明40)

年1月、新潟県中頸城郡水上村西

条(現新井市)の自小作農の7人

兄弟の3男に生まれました。弟・

徳治さんも三・一五事件で。父は、

村の小作人組合の幹部で、子ども

の頃から、父の闘う姿を見て、農

民の貧乏の根は、地主制度にある

ことを知ります。小学校高等科を

卒業後、本格的な「苦学」の夢を

追って上京。

25(大正14)年9月、印刷会社

集英舎に印刷見習い工として就職

し、夜学に通います。11月、賃金

のくぎ付けなどに反対する労働者

のストライキが起こり、3千人の

全労働者が一糸乱れず7日間たた

かい、賃金くぎ付けの撤回で妥結

その後寺島さんは工場分会の書記

に選ばれ、全日本無産青年同盟工

場班の委員長にも就任しました。

共同印刷争議などの支援に出か  
けるかたわら、職場内の社会科学  
研究会に参加し、科学的社会主義  
を学びます。

しかし会社の組合破壊工作が強  
まり、1年後には寺島さんは解雇

され、その後は出版労働組合の常  
任執行委員・無産青年同盟東京支

部執行委員として活動しました。

寺島さんは徴兵検査で甲種合格  
となり、28年1月、仙台の野砲兵

第2連隊に入隊します。軍隊内では  
古年兵によるリンチや下士官の

横暴も体験します。入営した2カ  
月後の三・一五大弾圧では、皮肉

にも寺島さんは入隊して活動家と  
の連絡が切れていたため、検挙か

ら逃れました。寺島さんは、29年  
11月末に除隊しますが、自分の知

る活動家はすべて囚われ、獄中で  
した。農民運動に参加郷里新潟に

戻り、農民とともに生きる道を再  
出発しました。

そのころ、全国農民組合(全農)  
は右翼幹部によって分裂させられ、  
統一派は全農全国会議(全農全会)  
に結集し、新潟県も二つの全農が  
対立していました。

32年9月、寺島さんは、出身地  
の上越農民組合連合会をまとめて、  
全農全会県連に合流し、その県連  
書記に選ばれました。翌年2月、  
全農全会北蒲地区協の常任に派遣  
され、日本共産党に入党。全農全  
会県連の党グループ責任者の任に  
つきます。

新潟県の党組織は、32年11月の  
いっせい検挙でほとんど壊滅状態  
でしたが、寺島さんは党再建のた  
め党中央との連絡で上京中、34  
(昭9)年3月スパイの手引きに  
よって特高に逮捕され、ただちに  
新潟警察署に逆走され、留置3カ  
月後、治安維持法違反で起訴、懲  
役3年6カ月の実刑判決をうけ、  
新潟刑務所に下獄しました。

### 獄中で戦地への召集を免れる

獄中の寺島さんに召集令状が来  
ましたが、刑務所の所長は「転向  
を認められないので令状は返上し  
た」と寺島さんに申し渡したので

す。この時召集された同年兵の半  
数以上が、中国で戦死したことを  
考えると、官憲の意図に反して寺  
島さんは命を救われたのでした。

寺島さんは38(昭13)年8月、  
刑を終えて出獄後は、運動から離  
れ東京に移り住みました。45年3  
月の東京大空襲で住居も勤務先も  
焼かれ、裸一貫で妻の実家(新潟  
県北蒲原郡木崎村早通―現新潟市  
北区)に疎開したのは4月初めこ  
ろでした。

45(昭20)年日本の敗戦を迎え  
た直後、寺島さんは日本共産党に  
再入党し、佐藤治さん(戦前の木  
崎争議の指導者)、三条出身の吉  
田兼治さんの3人で県党再建方針  
を確認し、12月16日、第1回新潟  
県党会議を開き、寺島さんは県委  
員長に選ばれました。

寺島さんは、46年の第1回総選  
挙いらい衆院5回、参院3回立候補。  
61年以降、日本共産党中央統  
制監査委員、中央委員、中央委員  
顧問を歴任。98(平10)年7月31  
日、東京府中市の病院で91歳の生  
涯を閉じました。

(新潟県本部顧問・相沢 寛)

顕彰碑  
探訪

大正デモクラシーの旗手

吉野作造よしのさくぞう

吉野博士は、1878(明治11)年1月29日、現在の大崎市古川十日町で生まれた。

東大教授だった博士は、日本の政治の在り方が欧米に比べてあまりにも遅れていることを憂い、政治は国民を基とするよう主張し、天皇制は認めたくなくて、国民から離れた元老や枢密院は廃止、貴族院や軍部の特権を抑え、国民が選ぶ議会が中心となって、政党内閣の首相のもとで、国民の意向をくみ、国民の幸せをめざす政治を実現すべく、抑圧にめげず力説した。このような博士の民本主義の主張は結局、敗戦という大きな犠牲のうえで初めて日本国憲法で実現するのである。



思えば博士は、戦後のこの憲法を40年も前に先取り

し、国を憂い国を愛した偉大な先駆者であった。博士は、反対し続けた満州事変のさなか、33(昭和8)年3月18日亡くなられたのである。(文責・祇園寺信彦)(吉野作造記念館パンフレットより)

吉野作造記念館は1995年1月29日、吉野作造の誕生日に開館。常設展示室では、吉野作造の功績や人間像を「プロローグ」「アカデミズムの人・吉野作造」「ジャーナリズムの人・吉野作造」などの5つのコーナー構成で紹介。また、スクリーンを使い、民本主義を提唱した吉野作造の生涯を表現した映像の上映も実施。

(不屈編集委員 大益弘)

所在地…〒989-6105  
宮城県大崎市古川福沼1-2-3  
電話…0229-237100  
開館時間…9:00~17:00  
月曜休館。  
交通…東北新幹線・陸羽東線古川駅より徒歩15分。

父と戦争

泉南支部・前田千代子

この8月、私は78歳になりました。平和憲法に守られて生きてこられたのは、この上なく幸せな人生だったと思います。父も戦後、すぐ帰ってきて、私たち4人の子どもたちに深い愛を注いでくれました。何度か満州に行ったと聞かれましたが、中身について何ひとつ語ろうともしませんでした。



父としては喜んで子どもたちに聞かせる話ではなかったのだと思います。いまはただ、満州の地で笑顔で馬にまたがる父の写真を眺めるだけです。(『不屈』大阪版19年8月号より)

国人学校の幼稚部に通う子どもたちです。

外国人学校で幼児教育・保育を行っているのは全国88校。うち40校が朝鮮学校です。朝鮮学校だけで約600人と聞いています。(『不屈』滋賀版19年8月号より)

工藤攻さんの遺志を受け

弘前支部・平戸富治

故工藤攻前支部長は、いつも署名活動の先頭に立って来ました。医療の現場を通して築いてきたつながり、弘前という地域で培ってきた活動は、守備範囲の広さを感じさせます。必要とあらば、会議の途中、合間にでも電話をかけるなど、今やらなければならぬことは今やるということがしばしばありました。

幼保無償化、朝鮮学校除外

滋賀県本部・河かおる

今年10月1日から、幼児教育・保育の無償化(幼保無償化)が実施されます。ところが、「すべての子ども」に入れてもらえない子どもがいます。朝鮮学校などの外

工藤さんは青森年金裁判の原告の1人で、今年に入って、陳述書を完成させました。19年2月9日、弘前支部の「新年のつどい」で工藤さんは、統一地方選挙、参議院議員選挙に、ともに頑張る決意を述べていました。(『不屈』青森版19年8月号より)